

江戸川・葛飾 企業・専門高校・中学校・都産振懇談会の報告

地元で働き甲斐のある仕事をしながら一緒に地元を盛り上げていける人材を育てたい、という熱い思いから、12月3日に東京商工会議所江戸川支部・葛飾支部の主催で懇談会が行われました。

地元の中学校長2名・専門学科高等学校長2名・葛飾区・江戸川区の経営者4名に都産振事務局、東京商工会議所人材・能力開発部も加わり、この地域での連携の第一歩を踏み出しました。

大企業ではなくても、それぞれに強みを生かしてニッチな部分で輝くことができる、この地域の明るい未来を創る取組に繋がっていくことを期待するとともに、他地域でも連携の必要性を再認識する会となりました。

江戸川・葛飾地区の中小企業では専門高校を卒業した多くの先輩が活躍しています。地元の中学生からみて、専門高校でも同じように生き生きと学ぶ先輩がいる。私たちは、そんな地域の連携を目指しています。



東京都産業教育振興会副会長
(株)カナック企画 相談役
金子 昌男 氏



会場は新型コロナウイルス感染症対策のため、広い空間のある会場で行われました。

企業が自社の魅力を学校へ発信することの大切さを再認識しました。何よりも参加者の地元への強い愛情を感じました。



東京都産業教育振興会
事務局長 多田 緑

専門高校が中学校や普通高校と異なる点は、勉強だけでなく、社会に出て働くことを学校生活の全ての時間で考え学ぶことができることです。



東京商工会議所
人材・能力開発部 部長
和泉 純治 氏

懇談会は東京商工会議所江戸川支部事務局長 山本順一氏により進行され、限られた時間ではありましたが、経営者の方からの率直な現状の発表に続き学校からの発表、そして意見交換まで充実した時間となりました。この内容については、3月発行予定の会誌「東京の産業教育第59号」にて紹介いたします。